

1. 地域スポーツ研究チーム

<ユニット1：子どもの運動技能向上に関する研究>

①本学にスポーツクラブを設立し、安全かつ効果的に子どもたちの運動技能や体力を向上させられる指導法を開発する。②体力に比べて客観的な評価が難しい運動技能の評価法を新たに開発する。③競技スポーツに移行した時に役立つ基礎的な身体の使い方やトレーニング法を開発する。早い時期に運動技能を上達させることは各種スポーツへの加入率も増加することが期待できる。さらに、運動技能の向上は体力向上にもつながることから子どもの体力低下問題にも貢献することができる。

<ユニット2：女性スポーツの振興に関する研究>

①女性が手軽にスポーツを楽しめる環境を整備する。②女性スポーツの指導者養成プログラムを開発する。③女子児童・生徒の運動時間やスポーツ実施率を向上させる。④若い女性（特に、20歳代と30歳代）のスポーツ実施率の向上につなげる。これら、特有の課題を解決することにより、女性や女子児童・生徒が気軽にスポーツに取り組むことができる環境（機会）を学内外に創出し、天理市における女性の運動習慣者の割合を増加できる。スポーツを「する」と「支える」ことに対する知識や技能、興味・関心が向上する。

<ユニット3：市民の運動・スポーツ参加促進に向けた振興に関する研究>

①エビデンスにもとづいた天理市のスポーツ行政施策の実現に向けた資料提供・提案・推進を行う。②天理市における生涯スポーツ機会の充実を通じてスポーツ実施率の向上を図る。③「する」「観る」「支える」といった幅の広いスポーツへの関わり方を啓発できる。④天理市民による天理市民のためのスポーツ行政の構築につながる。また、2019年のワールドカップラグビー、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、そして2021年の関西ワールドマスターズゲームズと、世界的なスポーツイベントが3年連続で開催される「ゴールデン・スポーツイヤーズ」を、市民のスポーツ参加促進の機会と捉え、本事業期間内にスポーツ振興の充実を図ることができる。